

お互いを思いやる気持ちは大切

市の男女共同参画を市民の皆さんへ発信する「男女共同参画推進市民会議」の川口廣司会長と富田信子副会長に、市民会議としての取り組みについて聞きました。

あらためて気づいたこと

川口 この2年間で男女共同参画社会とはどういうことなのかおぼろげながらやつと分かっていた気がします。市民の皆さんも、言葉を聞いたことはあっても何かよく分からないというのが本当のところではないでしょうか。まず知っていただくことが大事です。

私はずっと、男と女の性別の違いによって得意、不得意があつて、それが社会に反映してきたと思つていましたが、女性から見ると社会的制約でそうなった部分もあるということに初めて気がつきました。今までの男らしさ、女らしさという概念が大きく変わってくる部分があると感じました。

市担当 男らしさ、女らしさの

基準は、人によって違いますね。**川口** その部分を変えていくとなると、教育面、生活面に浸透させていかなければならぬいから奥が深く大変なことです。

富田 二十数年前に私が勤め始めた頃に男女雇用機会均等法ができたんです。職場で男女差別をしないと給料を同じにするとか、女性でも課長や部長になれるんだと思いました。しかし、私たちの時代は、女性はお茶くみとかコピーを取る係というイメージがありました。

川口 男女共同参画社会とは互いに思いやることではないでしょうか。言葉で言うのは簡単ですが、実現することは難しいことですね。男女共同参画について勉強するまでは、男が力仕事するのは当たり前。看護師

は女性の職業だと言われても何も不思議に感じていませんでした。

富田 私たちの世代までは、そうですね。でも今の若い世代は、男女共同参画の意識が教育から変わってきていますね。

市担当 世代によって男女共同参画への考え方が違う点などは解決していかなければいけない問題なのではないでしょうか。

川口 突き詰めることで男らしさ、女らしさが無くなつてしまふことは、いかなるものでしょう。それによって保つていく良さもあると思うのです。

市担当 男女共同参画と男女平等という考えを混同して、平等にしていれば男女共同参画なんだと思つている人が多いように思います。何でも一緒にしなければいけないのではないので、そこを啓発していく必



男女共同参画推進市民会議
会長 川口廣司さん(新谷区)



男女共同参画推進市民会議
副会長 富田信子さん(東町)